



時間を管理する・・・のではなく 時間を味方につけるという考え方



皆さんにとって、時間とは、こういった存在でしょうか？
—追われるもの？使うもの？奪われるもの？使えるもの？—

10月2日・3日に開催されたインバスケット展示会 2018 では“時間管理”をテーマとし、鳥原の基調講演では、時間を味方につけるために意識することは3つある、とお伝えしました。

◆継続する

◆集中する

◆工夫する

「継続は力なり」という諺がある通り、何事もコツコツ継続することで力になります。では、なにを継続すればいいのか？それは、“しつけや教育”“信頼関係の構築”などです。

また、重要なことを選び、時間を「集中させる」ことで、質を保ちながら、短時間で成果につなげることができます。

最後に「工夫する」ことで時間を生み出す考え方です。例えば、「簡素化する」「誰がやるべきかを考える」「そもそも必要かを考える」と工夫することで、おのずと無駄なものが見えてきます。何かを減らす工夫は大変な事もありますが、一時的にやめて様子を見る、ということが無駄を省くきっかけになります。

時間を味方につけ、時間を追うようになれば、先を考えることができるようになりますので、皆さまもぜひ、3つの行動に挑戦してみてください。



時間の使い方に関する研究結果

『普段の時間の使い方に関するアンケート調査』と『インバスケットの回答からみられる行動』を分析した研究結果が、インバケット展示会 2018 にて発表されました。

時間管理が出来る人とは、

「残業時間が少ない」 = 時間を意識している

「部下の人数が多い」 = マネジメントができています

「予定を把握している」 = 予定を細かく立てられる

という仮説を立てました。

調査の結果、上記の傾向がある方は、実際に右図のような行動を取る傾向があるということがわかりました。

時間管理ができるようになるために、皆さんもこういった行動を取り入れてみてはいかがでしょうか？

残業時間が少ない人

- 仕事の障害を取り除いておくための根回しができる

部下人数が多い人

- 対人関係能力（労いや感謝）の発揮を留めている

予定を把握している人

- 優先順位を考慮し、重要な事に集中している



デザイン変更のお知らせ

2018年4月より発行している広報誌「INBAS NEWS」ですが、当社が第10期に入るこのタイミングで変更することになりました。

新デザインは、4月に入社した新入社員のKさんが作ってくれました。これからもインバケットに関する情報を中心に、当社での取り組みなどをご紹介します。

皆さまからお寄せいただいた情報を掲載する企画なども考案中ですので、ぜひご意見などお聞かせいただければ幸いです。



写真：制作中の社内の様子



まならぼ

テーマは「アウトプット力」！



インバケット研修などでの効果は持続していますか？

インバケットは定期検診と同じです。定期的にご自身の傾向を確認するためにご活用ください。

おひとり様 3,500 円でご参加いただけます。



INBAS
インバケット研究所

@inbasket_Lab

@inbasket

発行元：株式会社インバケット研究所
カスタマーサポートグループ

メール：houjin@inbasket.co.jp



データ版はこちらから